

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
4	関 明美（2）	<p>1. 動物虐待の匿名通報について</p> <p>動物虐待とは、愛護動物をみだりに殺しまたは傷つけることを言い、動物の心身に苦痛やストレスを与えることのほか、ネグレクト（放置）等もこれに含まれる。令和元年に改正された、動物の愛護及び管理に関する法律（動物愛護法）では、動物虐待は5年以下の懲役または500万円以下の罰金に処される犯罪になっている。</p> <p>近隣住民の動物虐待に気づいた市民が行政に通報する場合、本市においては匿名通報を認めておらず、住所・氏名を明らかにするよう求められる現状にある。</p> <p>動物虐待に気づいた市民は、行為者からの報復を恐れるあまり、通報をためらう場合もあり、動物虐待をいち早く察知し、減らしていくためには、匿名通報できる仕組みの整備が必要と考え、以下質問する。</p> <p>(1) 動物虐待の現状について、どのようにして把握しているか。</p> <p>(2) 動物虐待防止における市の役割について、どのように認識しているか。</p> <p>(3) 動物虐待について、これまで匿名通報を認めていない理由は何か。</p> <p>(4) 通報者保護の観点から、匿名通報を認めるべきと考えるがいかがか。</p> <p>2. 市職員の健康診断実施状況について</p> <p>よりよい市民サービスのためには市職員の健康と安全が重要である。本市では、令和4年度の病院職員を除く市長部局職員の正規職員1342名のうち、179名が月60時間を超える残業をしており、長時間労働による健康障害のリスクが懸念される。</p> <p>厚生労働省では、昨年より「しごとより、いのち。」のキャッチフレーズで、過労死ゼロ社会の実現に向けての施策を展開しており、事業主に労働者の健康づくりに向け積極的に支援することを求めている。</p> <p>そこで、本市で現在実施されている職員の健康診断の実施状況と実施時間について、以下質問する。</p> <p>(1) 市職員の一般健康診断の実施に当たり、受診しやすい環境をどのように整備しているか。</p> <p>(2) 一般健康診断は勤務時間内で行うのが基本と考えるが、昼休み等勤務時間外に受診するような事例はあるか。</p>	市長 及び 担当部長